2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月13日

上場会社名　瀧上工業株式会社　　上場取引所　東 名

コード番号　5918　ＵＲＬ　https://www.takigami.co.jp/

代表者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）瀧上晶義

問合せ先責任者　（役職名）取締役兼執行役員管理本部長　（氏名）本田靖男　ＴＥＬ　0569-89-2101

半期報告書提出予定日　2026年11月13日　配当支払開始予定日　2026年12月10日

決算補足説明資料作成の有無：　無

決算説明会開催の有無　：　無

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	13,243	18.9	2,304	986.0	2,859	336.4	2,003	431.3
2026年３月期中間期	11,142	2.5	212	－	655	－	377	－

（注）包括利益　2027年３月期中間期　4,827百万円　（50.5%）　2026年３月期中間期　3,208百万円　（－%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	970.05	－
2026年３月期中間期	182.91	－

（注）１株当たり当期純利益は、信託口が保有する当社株式を期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めて算出しております。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年３月期中間期	75,736	54,981	72.6	26,594.92
2026年３月期	72,944	50,275	68.9	24,361.31

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　54,981百万円　2026年３月期　50,275百万円

（注）１株当たり純資産は、信託口が保有する当社株式を期末発行済株式総数から控除する自己株式に含めて算出しております。

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	－	50.00	－	70.00	120.00
2027年３月期	－	50.00			
2027年３月期（予想）			－	50.00	100.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　無

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,000	2.4	2,000	314.8	3,000	112.8	2,000	109.8	967.41

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：　有

連結業績予想の修正については、添付資料３ページ「１．経営成績等の概況　（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更：　　無

新規　－社（社名）－　　除外　－社　（社名）－

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：　　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	2,697,600株	2026年３月期	2,697,600株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	630,227株	2026年３月期	633,838株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	2,065,049株	2026年３月期中間期	2,061,201株

（注）期末自己株式数には、「株式会社日本カストディ銀行（信託口）」が保有する当社株式（2027年３月期中間期　44,100株、2026年３月期　45,000株）が含まれております。また、「株式会社日本カストディ銀行（信託口）」が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております（2027年３月期中間期　44,307株、2026年３月期中間期　41,591株）。

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料３ページ「１．経営成績等の概況　（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期の経営成績の概況 …… 2
（２）当中間期の財政状態の概況 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間連結貸借対照表 …… 4
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 6
中間連結損益計算書 …… 6
中間連結包括利益計算書 …… 7
（３）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（セグメント情報等の注記） …… 8
３．補足情報 …… 9
販売実績、受注高及び受注残高（連結） …… 9

１．経営成績等の概況

（１）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における当社グループの連結業績につきましては、完成工事高132億4千万円(前年同期比18.9%増)、営業利益23億円(前年同期比986.0%増)、経常利益28億5千万円(前年同期比336.4%増)、親会社株主に帰属する中間純利益20億円(前年同期比431.3%増)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。
なお、各セグメントの業績数値につきましては、セグメント間の内部取引高を含めて表示しております。

①鋼構造物製造事業

鋼構造物製造事業におきましては、当中間連結会計期間の総受注高は76億8千万円（前年同期比94.7%増）となりました。橋梁・鉄骨ともに厳しい受注環境が続く中、当社の保全部門における想定を上回る設計変更の受注等により、受注高は前年同期を大きく上回りました。

完成工事高については、当社の保全部門において想定を上回る設計変更を受注したことに加え、新設橋梁部門においても計画していた設計変更が寄与し、橋梁部門の完成工事高は前年同期を上回りました。一方、鉄骨部門は繰越工事が売上高の大半を占め、新規受注案件による売上寄与が限定的であったため、前年同期比で微減となりました。また、連結子会社においては、橋梁関係では高速道路関連および鉄道関連の補修工事が堅調に推移し、完成工事高は前年同期を上回りました。鉄骨関係では、材料価格や人件費の高騰に伴う厳しい受注環境が続いたものの、工場稼働は概ね計画通りに推移したことなどにより、完成工事高は前年同期を上回りました。

損益面につきましては、原材料価格や人件費の上昇による影響が継続する中、当社の新設橋梁工事および保全工事において設計変更を受注したことが収益性向上に大きく寄与し、大幅な増益となりました。一方、鉄骨工事では当社および連結子会社において一部案件の採算悪化が続いたものの、橋梁工事における増益効果により、全体では前年同期を大きく上回る利益水準となりました。

この結果、完成工事高は120億3千万円（前年同期比23.5%増）、営業利益は22億4千万円（前年同期は1億3千万円の営業利益）となりました。

②不動産賃貸事業

不動産賃貸事業におきましては、売上高は、2026年４月に売却した賃貸マンションの収入減少が主な減少要因となりました。一方、損益面では、中規模修繕費の減少などにより減収影響の一部を吸収し、営業利益は微減に留まりました。この結果、売上高4億5千万円（前年同期比13.5%減）、営業利益2億6千万円（前年同期比2.4%減）となりました。

③材料販売事業

材料販売事業におきましては、厚板部門では、厳しい事業環境が継続し、橋梁用・鉄骨用材料ともにグループ内取引は計画通り推移したものの、外販向け取引の低迷により前年同期を下回る結果となりました。レベラー部門では、自動車・輸送機向け取引は堅調に推移したものの、主要外注先の工場閉鎖に伴う取引数量の減少に加え、建設・土木・製造向け取引の減少も影響し、前年同期を下回りました。鉄筋建材部門では、長引く需要低迷を背景に取扱商品の販売が総じて低調に推移し、特に土木資材販売が大きく落ち込んだことから、前年同期を下回りました。この結果、売上高8億4千万円（前年同期比24.6%減）、営業損失4千万円（前年同期は4千万円の営業損失）となりました。

④運送事業

運送事業におきましては、グループ内取引において、上半期を通じて当社の関東圏における鉄骨工事向け輸送及び工場間輸送がともに増加しました。また、外販取引につきましても、前年度に受注した案件の進捗及び新規取引先との取引開始が売上高の増加に寄与しました。この結果、売上高3億4千万円（前年同期比100.8%増）、営業利益1千万円（前年同期は3百万円の営業損失）となりました。

（２）当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末の財政状態につきましては、総資産は757億3千万円(前連結会計年度末比3.8%増)となりました。流動資産は、270億9千万円(前連結会計年度末比3.7%増)、固定資産は、486億3千万円(前連結会計年度末比3.9%増)となりました。

負債は207億5千万円(前連結会計年度末比8.4%減)となり、それぞれ、流動負債は81億円(前連結会計年度末比28.0%減)、固定負債は126億5千万円(前連結会計年度末比10.9%増)となりました。

純資産は、549億8千万円(前連結会計年度末比9.4%増)となりました。

この結果、自己資本比率は72.6%となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年３月期の通期連結業績予想につきましては、本日（2026年11月13日）公表の「2027年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金預金	7,020	10,020
受取手形・完成工事未収入金等	16,986	15,390
商品及び製品	95	123
未成工事支出金	124	127
材料貯蔵品	570	553
未収入金	899	689
その他	422	193
流動資産合計	26,119	27,097
固定資産		
有形固定資産		
賃貸不動産（純額）	8,137	5,713
その他（純額）	8,079	7,968
有形固定資産合計	16,217	13,682
無形固定資産		
ソフトウエア	45	50
その他	36	48
無形固定資産合計	81	99
投資その他の資産		
投資有価証券	30,133	34,456
その他	392	400
投資その他の資産合計	30,525	34,857
固定資産合計	46,825	48,638
資産合計	72,944	75,736
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	3,361	3,382
未成工事受入金	3,347	2,298
工事損失引当金	313	152
その他の引当金	266	215
未払法人税等	284	916
短期借入金	2,500	－
その他	1,187	1,136
流動負債合計	11,260	8,102
固定負債		
長期借入金	1,566	1,480
その他の引当金	347	372
退職給付に係る負債	896	910
繰延税金負債	8,136	9,435
その他	460	453
固定負債合計	11,408	12,652
負債合計	22,668	20,754

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,361	1,361
資本剰余金	475	478
利益剰余金	35,648	37,504
自己株式	△3,927	△3,904
株主資本合計	33,558	35,439
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16,630	19,471
退職給付に係る調整累計額	87	70
その他の包括利益累計額合計	16,717	19,542
純資産合計	50,275	54,981
負債純資産合計	72,944	75,736

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

（中間連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
完成工事高	11,142	13,243
完成工事原価	9,935	9,824
完成工事総利益	1,206	3,419
販売費及び一般管理費	994	1,114
営業利益	212	2,304
営業外収益		
受取利息	5	11
受取配当金	418	512
賃貸収入	18	17
その他	41	42
営業外収益合計	483	584
営業外費用		
支払利息	19	14
自己株式の取得に関する付随費用	1	1
賃貸費用	8	8
為替差損	5	4
その他	5	0
営業外費用合計	40	29
経常利益	655	2,859
特別利益		
固定資産売却益	1	148
投資有価証券売却益	40	32
特別利益合計	41	181
特別損失		
固定資産除却損	－	1
固定資産売却損	0	－
投資有価証券売却損	23	99
会員権評価損	4	－
特別損失合計	29	100
税金等調整前中間純利益	667	2,940
法人税、住民税及び事業税	260	944
法人税等調整額	30	△7
法人税等合計	290	937
中間純利益	377	2,003
親会社株主に帰属する中間純利益	377	2,003

（中間連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
中間純利益	377	2,003
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,835	2,841
退職給付に係る調整額	△4	△16
その他の包括利益合計	2,831	2,824
中間包括利益	3,208	4,827
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	3,208	4,827

（３）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前中間連結会計期間（自　2025年４月１日　至　2025年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						その他（注）１	合計	調整額（注）２	中間連結損益計算書計上額（注）３
	鋼構造物製造事業	不動産賃貸事業	材料販売事業	運送事業	工作機械製造事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	9,739	524	720	75	62	11,122	19	11,142	－	11,142
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	1	398	98	－	498	－	498	△498	－
計	9,739	525	1,119	173	62	11,620	19	11,640	△498	11,142
セグメント利益又は損失（△）	139	272	△45	△3	△8	353	12	366	△153	212

（注）１　「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業を含んでおります。

２　調整額の「セグメント間の内部売上高又は振替高」には、セグメント間取引の消去額△498百万円及び「セグメント利益又は損失（△）」には、セグメント間取引の消去額27百万円、セグメント間未実現利益の消去額1百万円及び親会社本社の総務部門等管理部門に係る全社費用△182百万円を含んでおります。

３　セグメント利益又は損失（△）は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当中間連結会計期間（自　2026年４月１日　至　2026年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他（注）１	合計	調整額（注）２	中間連結損益計算書計上額（注）３
	鋼構造物製造事業	不動産賃貸事業	材料販売事業	運送事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	12,030	453	661	79	13,225	17	13,243	－	13,243
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	1	183	268	452	－	452	△452	－
計	12,030	454	844	348	13,677	17	13,695	△452	13,243
セグメント利益又は損失（△）	2,243	266	△45	16	2,480	11	2,491	△186	2,304

（注）１　「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業を含んでおります。

２　調整額の「セグメント間の内部売上高又は振替高」には、セグメント間取引の消去額△452百万円及び「セグメント利益又は損失（△）」には、セグメント間取引の消去額27百万円、セグメント間未実現利益の消去額0百万円及び親会社本社の総務部門等管理部門に係る全社費用△214百万円を含んでおります。

３　セグメント利益又は損失（△）は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

４　前連結会計年度末まで記載しておりました報告セグメントの「工作機械製造事業」は、連結子会社であった㈱ケイシステックニジューサンを2026年３月で清算したことにより廃止しております。

３．補足情報

販売実績、受注高及び受注残高（連結）

（１）販売実績

区　分	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）		当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）		前連結会計年度 （自　2025年４月１日 至　2026年３月31日）	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
橋　梁	8,103	72.7	10,476	79.2	17,136	73.1
鉄　骨	1,636	14.7	1,553	11.7	3,560	15.2
小　計	9,739	87.4	12,030	90.9	20,697	88.3
不動産	524	4.7	453	3.4	1,044	4.5
材料販売	720	6.5	661	5.0	1,449	6.2
運　送	75	0.7	79	0.6	148	0.6
工作機械	62	0.5	－	－	62	0.3
その他	19	0.2	17	0.1	32	0.1
合　計	11,142	100.0	13,243	100.0	23,434	100.0

（２）受注高

区　分	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）		当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）		前連結会計年度 （自　2025年４月１日 至　2026年３月31日）	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
橋　梁	3,282	83.2	4,946	64.4	11,287	84.2
鉄　骨	663	16.8	2,738	35.6	2,119	15.8
合　計	3,946	100.0	7,685	100.0	13,407	100.0

（３）受注残高

区　分	前中間連結会計期間末 （2025年９月30日）		当中間連結会計期間末 （2026年９月30日）		前連結会計年度末 （2026年３月31日）	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
橋　梁	29,888	92.5	23,328	89.8	28,859	95.2
鉄　骨	2,439	7.5	2,645	10.2	1,460	4.8
合　計	32,327	100.0	25,974	100.0	30,319	100.0